

## 群馬県警察本部 生活安全部長から感謝状を拝受

～県警と連携した太陽光発電施設での銅線ケーブル盗難防止の啓発に対して～

日本損害保険協会関東支部 群馬損保会(会長:本谷 祐介・三井住友海上火災保険株式会社群馬支店長)では、日頃より県内の安全・安心なまちづくりに資する取組みとして、各種防犯活動に取り組んでいますが、今般、こうした取組みにより警察の業務運営に貢献したとして、群馬県警察本部生活安全部長からの感謝状を拝受しました。

近年、北関東を中心に、太陽光発電施設の銅線ケーブル等の金属盗難が多発しており、2024年の同施設での盗難件数は1,146件で、金属盗全体約70%を占めています。こうした状況を踏まえ、群馬損保会では、群馬県警と連携して、太陽光発電施設業者に向けて、防犯対策を呼び掛ける動画を作成しました。

この動画は、群馬県のYouTube公式チャンネル「tsulunos」での公開や、県庁入口に設置されたLED大型ビジョンで上映されるなど、多くの方にご視聴いただいております。こうした取組みに対して、今般、感謝状が授与される運びとなったものです。

2月10日(火)前橋市内のホテルにおいて感謝状の授与が行われ、群馬県警生活安全部参事官兼生活安全企画課の生方 和人 課長から本谷損保会長に感謝状が手渡されました。

生方課長からは、「防犯対策については、官民が力を合わせて粘り強く取り組んでいくことが必要であることから、群馬損保会の取組みは大変心強く感謝している。」とのコメントがあり、これに対し、本谷損保会長からは、「今後も県内の安全・安心のために警察と連携しながら頑張っ参りたい。」旨を伝えました。

群馬損保会では、今後も警察や関係機関と連携し、安全・安心なまちづくりに向けた取組みを継続して行ってまいります。



拝受した感謝状



(左) 生方課長・(右) 本谷損保会長